

1965年のできごと

(6期生入学の年)

国内外のできごと



01.20 日本初の海外パッケージツアー「ジャルパック」の発売が始まった。参加者にサービスとして配られたトラベルバッグは当時の海外旅行者間でステータスシンボルとなっていたと言う。



02.01 大塚製薬よりガラス瓶入りのオロナミンCドリンクが発売された。商品名は、当社の皮膚薬「オロナイン軟膏」の「オロナ」とビタミンCの「ミンC」を合成して作ったと言うから薬っぽい。



02.07 トンキン湾事件発生を口実に、米国は北ベトナムに対し継続的な爆撃を開始。ベトナム戦争への本格的介入の第一歩となった。



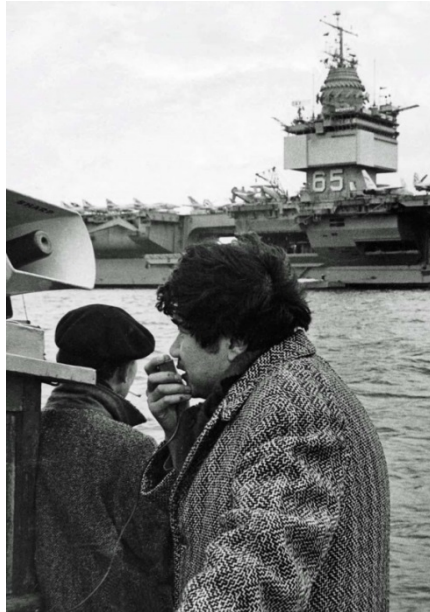
03.06 山陽特殊製鋼は過剰な設備投資が災いして倒産、会社更生法の適用を申請し、上場も廃止した。その後新日鉄の系列会社に。



03.18 ソ連のアレクセイ・レオノフ中佐がボストーク2号から約10分の宇宙遊泳を実施。この時宇宙服内気圧が上昇し服全体が膨張する問題に遭遇したが与圧バルブを開いて脱気、ことなきを得たと言う。



04.11 終戦後、GHQにより航空機産業を解体され、航空会社を潰され、大学の授業では航空力学の科目を取り除かれていた日本が航空界に復帰するその象徴的な存在、国産旅客機 YS-11 が建造され就航した。



04.24 「何でも見てやろう」の小田実が「ベ平連」を結成。「反米」ではあったが、既存政党とは一線を画す無党派の反戦運動を展開。



06.01 三井山野炭鉱爆発。発破作業中にメタンガスの突出事故が発生、坑内に充満したガスに何らかの火が引火して爆発した。237人が犠牲となった。



06.19 ミュージカル映画「サウンド・オブ・ミュージック」が公開された。「エーデルワイス」という歌を知ったのはこの映画を観た時。



10.02 朝永振一郎博士が量子電気力学分野での基礎的研究が評価されノーベル物理学賞を受賞。湯川秀樹とは中学、高校、大学とも同期入学・同期卒業であった。

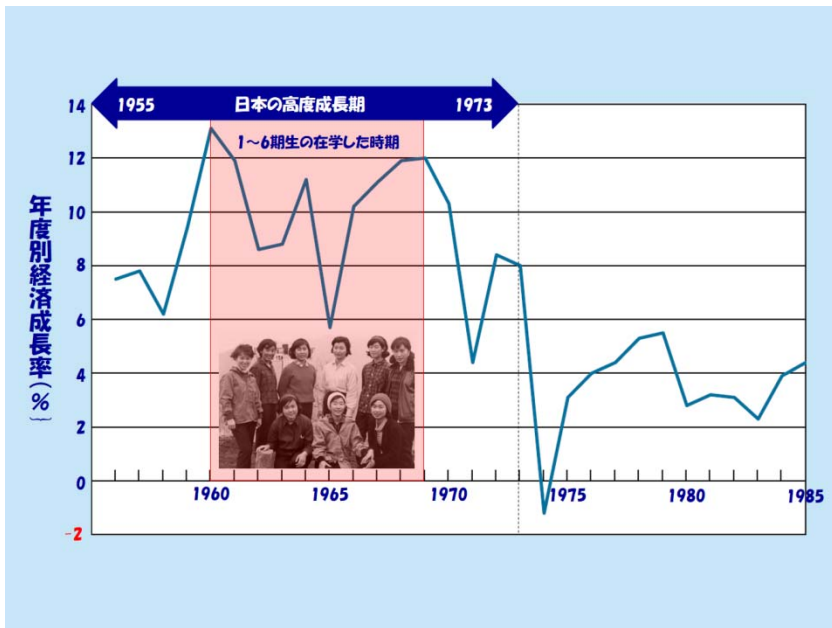


11.08 日本テレビと読売テレビの交互製作で、24年半にわたり放送されることとなった深夜番組「11PM」がスタート。東京側では大橋巨泉、大阪側では藤本義一が司会を担当。



11.10 中国共産党指導部内の権力闘争の中から生まれた運動、「文化大革命」が始まった。「四人組」という言葉が記憶に新しい。

山関連のオールド・ニュース



我々が早稲田に身を置いていた時代は、後に「高度成長期」と呼ばれるようになった勢いある時代であった。